

教科音楽 学年第6学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ロック マイソウル 9月	1	曲想と声部の重なりなどとの関わりについて理解するとともに、楽器の音や旋律の重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。		音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、「カンン」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	
カンン 9月	2	曲想と声部の重なりなどとの関わりについて理解するとともに、楽器の音や旋律の重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	「カンン」の曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。		
バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章 9月	2	曲想と、旋律や音色などとの関わりについて理解するとともに、楽器の音色や楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化が生み出すよさなどを感じ取りながら、曲のよさを見出す。	「バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。		
				バイオリンとピアノの音色や二つの楽器同士の関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出す。	
「合唱・合奏」 10月	5	呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない取扱い方で歌う技能を身に付けるとともに、旋律の持つリズムや流れ、歌声が生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない取扱い方で歌う技能、えんそうする技能を身に付けている。	器楽による表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、リコーダーに親しむ。	
「バイオリンとピアノのためのソナタ」 10月	2		旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて思いや意図をもっている。		
明日を信じて 11月	2	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	「明日を信じて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。		
			各声部や全体の響き、伴奏を聴き、「明日を信じて」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	「明日を信じて」の旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	
L-O-B-E 11月	2	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	「L-O-V-E」の曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		
音のスケッチ(じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう)	2	旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。旋律と和音との関わりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	「L-O-V-E」の旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	
				和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。	
Olympic Hym から	1	曲想と、旋律の流れや歌詞との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	「Olympic Hymn」の曲想と、旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		